

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州\_2014(v2.0)

### 1 建物概要

建物名称	(株)フロンティア・ロジ 新門司北	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----	----

### 2 重点項目への取組み度

重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.2 / 5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	0.0 / 5		がんばろう
3 豊かな自然環境の確保	1.6 / 5		がんばろう
4 高齢社会への対応	- / 5		よい
<sup>※</sup> 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上	がんばろう 3 点未満

### 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2016(v.3.0)
<b>1 循環型社会への貢献</b>		<b>スコア平均 3.2</b>	
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア <b>3</b>	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 Q2/ 3 対応性・更新性	スコア <b>2.3</b> スコア <b>4.3</b>
<自由記述>		<自由記述>	
<b>2 地球温暖化対策の推進</b>		<b>スコア平均</b>	
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア <b> </b>	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水	スコア <b> </b>
<自由記述>		<自由記述>	
<b>3 豊かな自然環境の確保</b>		<b>スコア平均 1.6</b>	
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア <b>1</b>	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア <b>2</b> スコア <b>2</b>
<自由記述>		<自由記述>	
<b>4 高齢社会への対応</b>		<b>スコア平均</b>	
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア <b> </b>	<b>主な指標</b> 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級 <b>0</b> 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅:BEI値、住宅: <b>0.59</b> 外構緑化指数 <b>0</b> % 建物緑化指数 <b>0</b> %	
<自由記述>			

:入力欄

:CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)フロンティア・ロジ 新門司北倉	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市門司区新門司北2	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	8人
地域区分	6地域	年間使用時間	19,200時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年10月20日
敷地面積	9,986 m <sup>2</sup>	作成者	甲斐 邦三
建築面積	5,979 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月10日
延床面積	5,938 m <sup>2</sup>	確認者	甲斐 邦三

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
営業倉庫として、お客様の荷物を保管し、搬入・搬出作業がスムーズにできるように出入口を配置して、大型トレーラーなどが駐車できるようにしています。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
保管物の搬入・搬出作業の時は、開口部を開けて作業をします。開口が広いので、自由に小運搬ができます。燃焼機器設置はないので、室内の大気汚染はありません。	建物内は禁煙で、喫煙場所は敷地内に部分確保しています。	庇を広く取り、屋外でも濡れずに作業ができるようにしています。また、門扉を広く取って前面道路からトラックの出入りがしやすくしています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
照明を無電極照明を使用しています。(施工取り扱い商品)	不燃材を使用した建物で、部分的に修理ができるようにしています。	この地域は準工業地域です。廻りは工場・倉庫等です。大型トラックの出入りには支障がありません。ゴミの分別収集用に、業者のバケツを用意します。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(株)フロンティア・ロジ 新門司北倉庫**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.30</b>			<b>2.3</b>
<b>1 音環境</b>						<b>1.8</b>	0.15			<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>		
1.2 遮音						<b>1.0</b>	0.40			
1 開口部遮音性能						1.0	1.00	3.0		
2 界壁遮音性能						-	-	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0		
1.3 吸音						<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		
<b>2 温熱環境</b>						<b>1.0</b>	0.35			<b>1.0</b>
2.1 室温制御						<b>1.0</b>	1.00			
1 室温						-	-	3.0		
2 外皮性能						1.0	1.00	3.0		
3 ゾーン別制御性						-	-	-		
2.2 湿度制御						-	-	3.0		
2.3 空調方式						-	-	3.0		
<b>3 光・視環境</b>						<b>1.8</b>	0.25			<b>1.8</b>
3.1 昼光利用						<b>1.8</b>	0.30			
1 昼光率						1.0	0.60	3.0		
2 方位別開口							-	3.0		
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策						<b>1.0</b>	0.30			
1 昼光制御						1.0	1.00	3.0		
3.3 照度						<b>2.0</b>	0.15	<b>3.0</b>		
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>		
<b>4 空気質環境</b>						<b>5.0</b>	0.25			<b>5.0</b>
4.1 発生源対策						-	-	-		
1 化学汚染物質						-	-	3.0		
4.2 換気						-	-	-		
1 換気量						-	-	3.0		
2 自然換気性能						-	-	3.0		
3 取り入れ外気への配慮						-	-	3.0		
4.3 運用管理						<b>5.0</b>	1.00			
1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-	-		
2 喫煙の制御		建物全体は、禁煙です。				5.0	1.00	-		
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	-		
1 広さ・収納性						-	-	3.0		
2 高度情報通信設備対応						-	-	3.0		
3 バリアフリー計画						-	-	-		
1.2 心理性・快適性						-	-	-		
1 広さ感・景観						-	-	3.0		
2 リフレッシュスペース						-	-	-		
3 内装計画						-	-	-		
1.3 維持管理						<b>3.0</b>	1.00			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	1.00	-		
2 維持管理用機能の確保						-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>2.4</b>	0.30			<b>2.4</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-		
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-		
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>2.3</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.22	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.22	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.11	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						-	0.22	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.22	-		
2.4 信頼性						<b>1.0</b>	0.20			
1 空調・換気設備						1.0	0.33	-		
2 給排水・衛生設備						-	-	-		
3 電気設備						1.0	0.33	-		
4 機械・配管支持方法						1.0	0.33	-		
5 通信・情報設備						-	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>4.3</b>	0.30	-	-	<b>4.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	軒高9.8m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = (130+57) x 2 / 5295 = 0.0707	5.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
倉庫業の倉庫ため、床荷重3,900N/m <sup>2</sup> 以上							
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>4.2</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	
3	電気配線の更新性	構造体を痛めることなく更新・修復ができる	5.0	0.20	-	-	
4	通信配線の更新性		-	-	-	-	
5	設備機器の更新性	構造体を痛めることなく更新・修復ができる	5.0	0.40	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.40	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEIm] = 0.59 照明: 倉庫2.61w/m <sup>2</sup> 屋外駐車場3.11w/m <sup>2</sup>	<b>5.0</b>	0.71	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.0</b>	0.29	-	-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			-	-	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.14	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			-	-	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			-	3.0	0.29	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			-	1.0	0.29	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			5.0	0.29	-	-	
鉄骨造で外装板・内装板ともビス止で、取外しが容易です。							
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			-	-	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			-	-	-	-	
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.50	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>5.0</b>	0.25	-	-	
燃焼機器を使用していない。							
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐車スペースを確保。	4.0	0.50	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.50	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.50	-	-	<b>2.7</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	